

授業科目	単位	時間	担当講師(実務経験)	回数(試験)
形態機能学	1	30	医師(整形外科)	16時間(8回) 6時間(3回) 演習(3回) 試験(1回)

ねらい	看護に必要な人体の形態と構造、正常な機能に関する知識を習得する
学習目標	細胞、血液系、循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、神経系、運動器系、感覚系、体温調節系、内分泌系の機能を形態と関連付けて説明できる。
回数	学 習 内 容
1	基礎知識・細胞と組織
2	皮膚と膜・血液
3	消化器系
4	内分泌系・生殖器系
5	骨格系・筋系
6	神経系
7	感覚系
8	免疫系
9	呼吸器と血液のはたらき(呼吸器の構造と機能・血液の組成と機能)
10	血液の循環とその調節(循環器系の構成・構造と機能)
11	体液の調節と尿の生成(腎臓の構造と機能・排尿路の構造、体液の調整)
12	演習(形態機能発表会)準備
13	形態機能 発表会
14	
15	試験
評価方法	筆記試験 講師1 70点(100点中) 講師2 30点(100点中)
参考文献資料	人体の構造と機能①解剖生理学(ナーシンググラフィカ) 書いて覚える解剖生理ワークブック(照林社)→自己学習用
備考	形態機能 発表会は教員がサポートします

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単 位	時 間	回 数 ( 試 験 )	
生態栄養学	非常勤講師	1	30	15	試験1回

学習 目標	生体の正常な営みを理解するための基礎知識と生体に必要な栄養と代謝を学ぶ。				
回数					担当
1	生化学とは				
2	糖質の構造と種類				
3	脂質の構造と種類				
4	核酸の構造				
5	蛋白質の構造				
6	蛋白質立体構造とその異常による病気				
7	酵素				
8	糖代謝 I				
9	糖代謝 II				
10	脂質代謝				
11	血糖値を調整するホルモンと糖尿病				
12	蛋白質・核酸の代謝と代謝異常による病気				
13	ゲノムの構造：染色体、クロマチン、メチル化、再生医療との関わり				
14	複製と細胞老化：DNAポリメラーゼ、テロメア				
15	生態栄養のまとめ				
16	試験				
評価 方法	筆記試験 100% (授業態度も参考にする)				
参考 文献 資料	穂苅茂、他：超入門 生化学・栄養学 (照林社)				

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単 位	時 間	回数 (試験)
病理学総論	医師 (病理科)	1	15	7回及び試験

学習目標	疾病の成り立ちと病態の特徴を理解する。
回数	学 習 内 容
1	病理の概要、循環障害
2	細胞組織の障害と修復
3	免疫異常、炎症
4	感染症
5	腫瘍
6	先天異常
7	老化と老年病
8	試験
評価方法	筆記試験 100点満点(60点以上)
参考文献 資料	ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ちと回復の促進①病態生理学
備考	

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単 位	時 間	回 数 ( 試 験 )	
病態生理学 I	医師 (呼吸器内科) 医師 (呼吸器外科) 医師 (整形外科)	1	30	15	試験1回
科目目標	呼吸器系・運動器系の機能と構造、および代表的な疾患の病態生理・治療、検査を理解し、生活にどのような健康上の課題が生じるかアセスメントするための基礎的知識を習得する				
回数	学 習 内 容				
1	呼吸器の構造と呼吸の生理			呼吸器内科医	
2	呼吸器の症状と病態生理			呼吸器内科医	
3	呼吸器疾患における主な検査・処置			呼吸器内科医	
4	呼吸器疾患 (感染・アレルギー・拘束性肺疾患など)			呼吸器内科医	
5	呼吸器疾患 (肺癌、悪性胸膜中皮腫、じん肺など)			呼吸器内科医	
6	運動器の構造と機能 (骨・関節・神経・筋肉・腱・靭帯)			整形外科医	
7	運動器の疾患の症状、病態生理、診断・治療について			整形外科医	
8	外傷性の運動器疾患について (骨折、脱臼、捻挫、神経損傷)			整形外科医	
9	腰痛			整形外科医	
10	脊髄損傷			整形外科医	
11	骨腫瘍および軟部腫			整形外科医	
12	末梢神経疾患、四肢および四肢帯の疾患			整形外科医	
13	呼吸器疾患 (外科領域・肺がん以外)			呼吸器外科医	
14	呼吸器疾患 (外科領域・肺がん以外)			呼吸器外科医	
15	試験				
評価方法	筆記試験 100点 (下記) 1回目～5回目: 40点 6・7・8回目: 30点 9・10回目: 10点 11・12回目: 10点 13・14回目: 10点				
参考文献資料	テキスト一覧表参照				
備考					

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単 位	時 間	回 数 ( 試 験 )	
病態生理学Ⅱ	医師 (循環器内科) 非常勤講師(血液内科医師)	1	30	15	試験1回

学習 目標	①循環器系、血液・造血器の機能と構造および代表的疾患の病態生理・治療・ 検査を理解し、生活にどのような課題が生じるかアセスメントする基礎的知識を 習得する。 ②職業生活の継続をはかるため、就業と疾病コントロールの両立を支援する勤労者 医療の基礎的知識を習得する。				
回数					担当
1	循環器・心臓疾患				循環器内科医
2	循環器・心臓疾患				循環器内科医
3	呼吸困難・浮腫・チアノーゼ				循環器内科医
4	睡眠時無呼吸症候群				循環器内科医
5	心音				循環器内科医
6	心機能検査				循環器内科医
7	心疾患の理解				循環器内科医
8	心不全				循環器内科医
9	血液の成分				循環器内科医
10	赤血球・白血球の異				循環器内科医
11	心不全				循環器内科医
12	心電図				循環器内科医
13	造血腫瘍				血液病専門医
14	循環器疾患のまとめ				循環器内科医
15	血液疾患まとめ				血液病専門医
16	まとめ 試験				
評価 方法	筆記試験 100点満点				
参考 文献 資料	系看 専門Ⅱ 成人看護学 (3) 循環器 (医学書院) 系看 専門Ⅱ 成人看護学 (4) 血液・造血器 (医学書院)				

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単 位	時 間	回 数 (試 験)
病態生理学Ⅲ	医師 (消化器内科) 医師 (外科) 医師 (消化器外科)	1	30	15 試験1回

学習 目標	①消化器系の機能と構造および代表的疾患の病態生理・治療・ 検査を理解し、生活にどのような課題が生じるかアセスメントする基礎的知識を 習得する。 ②職業生活の継続をはかるため、就業と疾病コントロールの両立を支援する勤労者 医療の基礎的知識を習得する。			
回数				担当
1	消化器の疾患			消化器内科医
2	消化器の疾患			消化器内科医
3	消化器の疾患			消化器内科医
4	消化器の疾患・肝硬変			消化器内科医
5	消化器の手術、がん治療、ドレナージ			消化器外科医
6	門脈圧亢進			消化器内科医
7	消化器の手術			消化器外科医
8	肝疾患について			消化器内科医
9	急性腹症			消化器外科医
10	消化器系の癌			消化器外科医
11	肝・胆・膵の解剖 ヘルニア			消化器外科医
12	乳がんの疫学、診断			外科医
13	黄疸、胆石症、胆嚢炎 肝胆炎 胆管炎			消化器内科医
14	黄疸、胆石症、胆嚢炎 肝胆炎 胆管炎			消化器内科医
15	まとめ 試験			
評価 方法	筆記試験 100点満点			
参考 文献 資料	系看 専門Ⅱ 成人看護学(6) 内分泌・代謝(医学書院) 系看 専門Ⅱ 成人看護学(8) 腎・泌尿器(医学書院) 系看 専門Ⅱ 成人看護学(11) アレ・膠原・感染症(医学書院) 病気が見える 免疫・膠原病・感染症			

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単 位	時 間	回 数 ( 試 験 )	
病態生理学Ⅳ	医師 (神経内科) 医師 (脳神経外科) 医師 (産婦人科)	1	30	15	試験1回

学習 目標	①脳神経系の機能と構造および代表的疾患の病態生理・治療・検査を理解し、生活にどのような課題が生じるかアセスメントする基礎的知識を習得する。 ②職業生活の継続をはかるため、就業と疾病コントロールの両立を支援する勤労者医療の基礎的知識を習得する。				
回数	学 習 内 容				
1	脳神経系の構造と機能				神経内科医
2	意識障害				神経内科医
3	脳血管障害				神経内科医
4	脳・神経の変性疾患				神経内科医
5	認知症				神経内科医
6	交感神経・副交感神経				神経内科医
7	女性生殖器について				産婦人科医
8	脳神経疾患まとめ				神経内科医
9	婦人内分泌疾患				産婦人科医
10	脳血管障害 (外科系)				脳神経外科医
11	脳出血				脳神経内科医
12	脳血管障害 (外科系)				脳神経外科医
13	性感染症				産婦人科医
14	頭部外傷				脳神経外科医
15	テスト、まとめ				
評価 方法	筆記試験 100%				
参考 文献 資料	系看 専門Ⅱ 成人看護学 (7) 脳・神経 (医学書院) 系看 別巻 臨床外科看護各論 (医学書院) (上記のテキストも合わせて必要) 系看 専門Ⅱ 成人看護学 (9) 女性生殖器 (医学書院)				
備考					

授業科目	担当講師(実務経験)	単位	時間	回数(試験)	
病態生理学V	医師(糖尿病・内分泌内科) 医師(腎臓内科) 医師(リウマチ科) 医師(泌尿器科)	1	30	15	試験1回

学習目標	①内分泌・代謝、腎・泌尿器系の機能と構造および代表的疾患の病態生理・治療・検査を理解し、生活にどのような課題が生じるかアセスメントする基礎的知識を習得する。 ②職業生活の継続をはかるため、就業と疾病コントロールの両立を支援する勤労者医療の基礎的知識を習得する。				
回数					担当
1	腎・泌尿器の構造と機能				腎臓内科医
2	腎疾患				腎臓内科医
3	糖尿病について				糖尿病専門医
4	免疫疾患				リウマチ科医
5	泌尿器疾患の治療・検査				泌尿器科医
6	糖尿病合併症				糖尿病専門医
7	尿路・性器の感染症				泌尿器科医
8	内分泌学総論				糖尿病専門医
9	多発性筋炎 全身性エリテマトーデス				泌尿器科医
10	下垂体前葉系疾患				糖尿病専門医
11	腎不全				腎臓内科医
12	原発性アルドステロン症				糖尿病専門医
13	腎不全				腎臓内科医
14	腎疾患まとめ				腎臓内科医
15	まとめ 試験				
評価方法	筆記試験 100%				
参考文献資料	系看 専門Ⅱ 成人看護学(6) 内分泌・代謝(医学書院) 系看 専門Ⅱ 成人看護学(8) 腎・泌尿器(医学書院) 系看 専門Ⅱ 成人看護学(11) アレ・膠原・感染症(医学書院) 病気が見える 免疫・膠原病・感染症				



授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単 位	時 間	回 数 ( 試 験 )	
病態生理学VI	医師 (耳鼻咽喉科) 医師 (眼科) 医師 (皮膚科) 医師 (歯科口腔外科) 医師 (形成外科)	1	30	15	試験1回

学習目標	耳鼻咽喉・口腔・皮膚・目の機能と構造および代表的疾患の病態生理・治療・検査を理解し、生活にどのような健康上の課題が生じるかアセスメントする基礎的知識を習得する。				
回数	学 習 内 容				担当医
1	眼のしくみと働き				眼科医
2	眼疾患の診断				眼科医
3	耳の解剖と検査				耳鼻科医
4	眼疾患について				眼科医
5	耳各論				耳鼻科医
6	皮膚の構造と症状				皮膚科医
7	口腔の働き				口腔外科医
8	皮膚科疾患の診断と治療				皮膚科医
9	歯周炎と全身疾患				口腔外科医
10	皮膚科で見る主な疾患と治療				皮膚科医
11	気管切開について				耳鼻科医
12	嚥下障害				耳鼻科医
13	創傷管理				形成外科医
14	口腔癌				口腔外科医
15	口腔粘膜疾患ビスフォーネート				口腔外科医
評価方法	筆記試験 100%				
参考文献資料	新体系看護学全書⑫ 皮膚/眼 (メヂカルフレンド社) " ⑬ 耳鼻咽喉科/歯・口腔 系統看護学講座 臨床看護総論 (医学書院)				
備考					

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単 位	時 間	回 数 ( 試 験 )	
微生物学	非常勤講師	1	30	15	試験1回

学習 目標	生態に影響を及ぼす病原微生物について理解し、医療従事者としての感染予防と管理能力のための知識を習得する。
回数	学 習 内 容
1	微生物学総論
2	滅菌と消毒
3	抗菌薬と薬剤耐性
4	自然免疫
5	獲得免疫
6	グラム陽性球菌感染症
7	呼吸器感染症
8	経口感染①
9	経口感染②
10	ウイルス①肝炎
11	ウイルス②インフルエンザ
12	性感染症
13	真菌感染症
14	スタンダードプリコーション
15	実習 顕微鏡観察
評価 方法	筆記試験 100%
参考 文献 資料	
備考	

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単 位	時 間	回 数 (試 験)	
臨床栄養学	栄養管理室長 (中部労災病院勤務)	1	15	7	試験1回

学習 目標	薬物治療の原理、薬理作用の基礎知識を学び、代表的な薬物の作用機序・特徴・人体への影響について理解する。		
回数	学 習 内 容		
1	臨床栄養学の基礎知識	臨床栄養学の基礎 (栄養とは)	
2		日本人の食事摂取基準と栄養アセスメント	
3	日常生活と栄養	人生各期における健康生活と栄養	
4	療養生活と栄養	検査食・手術・化学療法時のコントロール食	
5		消化器疾患のコントロール食	
6		内分泌・代謝・循環器疾患のコントロール食	
7		腎疾患・嚥下障害のコントロール食	
8	試験		
評価 方法	筆記試験 100%		
参考 文献 資料			
備考			

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単 位	時 間	回 数 ( 試 験 )	
薬理学	薬剤師 (中部労災病院勤務)	1	30	15	試験1回

学習 目標	薬物治療の原理、薬理作用の基礎知識を学び、代表的な薬物の作用機序・特徴・人体への影響について理解する。
回数	学 習 内 容
1	薬理学とは
2	イオンチャネル
3	薬物相互作用
4	抗生物質について
5	抗がん剤について
6	抗アレルギー薬・抗炎症薬
7	神経系に関連する薬剤
8	中枢神経の働きと薬物
9	利尿剤
10	血管系に作用する薬物
11	呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物
12	糖尿病の薬
13	漢方
14	消毒薬
15	テスト、まとめ
評価 方法	筆記試験 100%
参考 文献 資料	
備考	

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単 位	時 間	回 数 ( 試 験 )	
リハビリテーション医学	医師(リハビリテーション科)	1	15	7	試験1回

学習 目標	リハビリテーションの理論と方法を理解し、日常生活の自立に向けた治療およびケアの実際を学ぶ。
回数	学 習 内 容
1	リハビリテーション概論
2	リハビリテーション評価
3	脊髄損傷のリハビリテーション
4	脊髄損傷をはじめとした麻痺性疾患の医学的管理
5	嚥下障害の評価とリハビリテーション
6	脳卒中のリハビリテーション
7	切断患者のリハビリテーション
8	試験
評価 方法	筆記試験 100%
参考 文献 資料	
備考	

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単 位	時 間	回 数 ( 試 験 )	
特殊治療学	医師(麻酔科) 医師(放射線科) 放射線技師(中部労災病院勤務) 臨床工学技士(中部労災病院勤務) 臨床検査技師(中部労災病院勤務)	1	30	15	試験1回

学習 目標	疾病の回復を促進するために必要な麻酔・救急法および放射線治療について学ぶ。				
回数	学 習 内 容				
1	臨床検査の基礎知識				検査科
2	職業疾病検査と生理検査				検査科
3	細菌検査と感染				検査科
4	ME機器について				臨床工学
5	ME機器について				臨床工学
6	麻酔概論				麻酔科
7	呼吸管理				麻酔科
8	体液・栄養管理				麻酔科
9	輸血療法				麻酔科
10	B L S (演習含む)				麻酔科
11	放射線治療(リニアック)・血管内治療(IVR)の特徴				放射線(技師)
12	放射線治療と副作用				放射線(技師)
13	放射線医学の基礎				放射線(医師)
14	CTとMRI				放射線(医師)
15	PETおよび放射線検査時の介助				放射線(医師)
16	試験				
評価 方法	筆記試験 100%				
参考 文献 資料	臨床外科看護総論 臨床看護総論 看護に活かす検査マニュアル				
備考					

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単 位	時 間	回 数 ( 試 験 )	
メンタルヘルスマネジメント	非常勤講師(臨床心理士・産業カウンセラー実務経験有)	1	15	7	試験1回

学習 目標	勤労者の職場におけるメンタルヘルスの現状と対策を学び、勤労者の看護に活用する能力を養う。
回数	学 習 内 容
1	働く人のメンタルヘルスの現状理解
2	ストレスの理解とストレスコーピング
3	メンタルヘルス支援者に必要な基本的構え
4	パーソナリティ診断を用いて支援者としての傾向を知る
5	働く人のメンタルヘルスに役立つ認知行動療法
6	メンタル不調者の成長の支援 ～コーチング的関わり～
7	メンタルヘルス支援者としての今後の歩みとコミットメント
8	試験
評価 方法	筆記試験 100%
参考 文献 資料	
備考	

授業科目	担当講師(実務経験)	単位	時間	回数(試験)
医療学	医師(中部労災看護専門学校校長)	1	15	7回及び試験

学習目標	医療と看護の原点を学び、現代医療をめぐる諸問題について理解する。
回数	学 習 内 容
1	ワークショップとKJ法
2	勤労者医療
3	保険制度と現代医療
4	救急医療と災害医療
5	医療安全と災害対策
6	医学史と今後の展望
7	プロフェッショナリズム
8	試験
評価方法	筆記試験 100点
参考文献資料	看護学生のための医療概論(医学書院)
備考	



授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単 位	時 間	回数 (試験)	
公衆衛生	専任教員(領域実務経験有) 非常勤講師(産業カウンセラー実務経験有) 非常勤講師(保健センター実務経験有) 非常勤講師(領域大学教授)	1	30	15	試験1回

ねらい	健康に関する社会の動向を捉え、健康生活を送るための諸条件や環境要因、組織的な保健対策と保健行政を学ぶ。				
学習目標	1) 公衆衛生の概要について理解できる。 2) 公衆衛生活動における看護師の役割について考えることができる。				
回数	学習課題	内容			
1	「ひとりの健康」から「みんなの健康」へ	公衆衛生とは・公衆衛生行政、世界の公衆衛生の始まり、日本の公衆衛生の始まり			
2	疫学と保健統計	衛生の指標とその見方、人口静態と人口動態、生命表、主要死因の推移、健康状態と受療状況			
3	疫学と保健統計	疫学研究 ・疫学とは・コホート調査、横断・縦断研究、後向き・前向き研究・感染症の区分			
4	疫学と保健統計	環境問題、公衆衛生の実情、公衆衛生が必要な理由			
1	勤労者の保健衛生①	勤労者看護における保健活動 衛生行政における基本的理解			
6	集団を対象とした保健行動	保健活動の体験・対象集団の理解・対象集団の抱える健康上の課題の発見・健康上の問題解決のための対策			
7	食品の流通における安全と安心のための取り組み	食品衛生の実 ・食品衛生検査所の役割 ・食品衛生検査の体験			
8		(食品衛生検査所における見学・体験)			
9		勤労者看護における保健活動			
10	勤労者の保健衛生②	保健と看護との連携			
11		勤労者の健康支援の具体策①			
12		勤労者の健康支援の具体策②			
13	プライマリヘルスケア①	保健活動の体験 ・健康上の課題解決のための対策の実施と評価			
14	プライマリヘルスケア②	保健衛生の動向			
15	まとめ・試験	本科目で履修した内容のまとめと試験			
評価方法	筆記試験 100%				
参考文献資料	福田素生他著「社会保障・社会福祉」医学書院 厚生労働省編「厚生労働白書」日経印刷 ミネルバ書房編「社会福祉六法」 厚生労働統計協会編「国民の福祉と介護の動向」				
備考	①日常的に社会福祉に関する情報に関心を持ち、常に問題意識を持つこと ②随時最新の参考資料を配布するので、分類・整理・保存しておくこと ③積極的な自己学習と受講に対する真摯な姿勢で臨むこと				

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単 位	時 間	回 数 (試験)
社会福祉	非常勤講師(社会福祉協議会勤務)	1	30	15 試験1回

ねらい 社会福祉の概念や歴史の変遷、現在の社会福祉関係法制度・理念を学習するとともに福祉サービスを必要とする人の福祉ニーズを当事者の視点から理解し、支援に繋げる力を養う。また、看護専門職として、保健・医療・福祉など他職種連携を実践できるような社会福祉・社会保障の知識を習得する。

学習目標 ①生活問題・課題を抱える人の福祉ニーズを当事者視点から理解する。  
②看護師としての実践に応用できるような社会福祉及び社会保障の法制度・サービス等の知識を習得する。  
③ソーシャルワークの知識や社会福祉関係専門機関・専門職などの役割を理解する。  
④看護専門職として、保健・医療・福祉の多職種連携の実践ができるような力量を醸成する。

回数	学習課題	内 容
1	福祉制度と福祉政策	福祉制度・福祉政策の概念の理念、生活問題、福祉ニーズと資源
2	社会福祉の歴史	西欧の歴史、日本の歴史、現代社会における生活門d内・福祉課題、福祉政策、今後の社会福祉についての理解
3	社会福祉の法制度	社会福祉法、福祉六法、福祉行政財政の理解。社会福祉行政、社会福祉協議会、社会福祉法人等の組織・機関と専門職・従事者の役割
4	社会保障制度①	社会保障の概念や対象および理念、社会保障制度の動向、財源と費用、社会保障制度の体系、諸外国における社会保障制度の概要
1	社会保障制度②	年金保険制度の概要、社会手当の具体的概要 医療保険制度の沿革、医療保険制度の具体的概要
6	社会保障制度③	労働保険制度の概要、雇用保険制度の具体的概要、労働者災害補償保険の具体的概要、労働関係法規の概要
7	低所得者支援と生活保護制度	生活保護法の概要、保護の動向、低所得者対策、生活福祉資金 生活困窮者自立支援法の概要
8	高齢者支援と介護保険制度①	高齢者福祉制度の発展過程、高齢者の生活実態と課題、高齢者虐待防止法、介護予防、介護保険法の概要①
9	高齢者支援と介護保険制度②	介護保険法の概要②、介護保険サービスの種類、介護支援専門員等専門職の役割、連携の方法、地域包括支援センターの役割
10	障害者支援と障害者総合支援法	障害者の定義と実態、理念、制度の変遷の理解。障害者基本法、障害者総合支援法、精神保健福祉法、発達障害者支援法、障害者虐待防止法の理解。
11	児童家庭福祉制度	児童家庭福祉制度、児童福祉法、母子保健法、児童虐待防止法、DV防止法の理解。児童福祉施設、児童相談所などの役割を理解する
12	相談援助の理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法。面接技術、マッチング技法、ケアマネジメントの展開過程、グループワーク、コミュニティーソーシャルワーク
13	地域包括ケアシステムと多職種連携	地域包括ケアシステム、多職種連携、地域包括支援体制の構築事例研究
14	事例研究	事例から社会福祉援助・支援を学ぶ
15	まとめ・試験	本科目で履修した内容のまとめと試験

評価方法 筆記試験 100%

参考文献資料 福田素生他著「社会保障・社会福祉」医学書院  
厚生労働省編「厚生労働白書」日経印刷  
ミネルバ書房編「社会福祉六法」  
厚生労働統計協会編「国民の福祉と介護の動向」

備考 ①日常的に社会福祉に関する情報に関心を持ち、常に問題意識を持つこと  
②随時最新の参考資料を配布するので、分類・整理・保存しておくこと  
③積極的な自己学習と受講に対する真摯な姿勢で臨むこと

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単 位	時 間	回 数 ( 試 験 )	
関係法規	非常勤講師(弁護士事務所勤務・弁護士)	2	30	15	試験1回

学習 目標	医療従事者を取り巻く法律をまなび、専門職業人として必要な法律と自己の責任について理解する。				
回数					担当
1	法の概念				
2	医療法の概要、医療施設の機能や管理				
3	医療法より～医療に関する選択の支援、医療の安全の確保、診療に関する諸記録				
4	医療法より～医療計画等医療体制の確保、病床等の機能分化等。公的医療機関と医療法人				
5	医薬品と医療法具の取り扱い 医療を支えることに関連した法律①				
6	医療を支えることに関連した法律②				
7	医療過誤責任①				
8	医療過誤責任②				
9	衛生法と厚生行政のしくみ				
10	保健師助産師看護師法				
11	医療関係資格法				
12	保健医療福祉資格法				
13	労働基準法一般・その他 育児休業・介護休業又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律				
14	災害時の医療に関する法律				
15	試験				
評価 方法	筆記試験 100%				
参考 文献 資料					

授 業 科 目	担当講師(実務経験)	単 位	時 間	回 数 ( 試 験 )	
勤 労 者 医 療	専任教員(労災病院臨床 実務経験有) 看護師(中部労災病院勤 務看護師長) 非常勤講師	1	30	15	試験1回

学習 目標	勤労者医療の基礎を学び労災病院における看護の特徴を理解する。
回数	学習内容
1	労働衛生と労働者の現状 (労働衛生の理解、労働衛生行政と関係法規 労働衛生5領域、労働衛生の課題と対策)
3	産業保健と労働者の健康支援
4	勤労者に向けた健康教育 その1
5	勤労者に向けた健康教育 その2
6	勤労者に向けた健康教育 その3
7	勤労者看護のための基本的知識
8	労災病院における勤労者看護の実際 その1
9	労災病院における勤労者看護の実際 その2
10	労災病院における勤労者看護の実際 その3
11	労災病院における勤労者看護の実際 その4
12	労災病院における勤労者看護の実際 その5
13	勤労者看護の看護過程 (事例)
14	勤労者看護の看護過程 (事例)
15	試験
評価 方法	筆記試験 100%
参考 文献 資料	勤労者医療概論 (独立行政法人労働者健康安全機構)